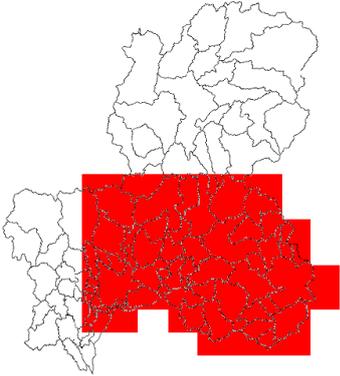


イワチドリ	<i>Amitostgme keiskei</i> (Maxim. ex Franch. et Sev.) Schltr.	絶滅危惧 I 類
(環境省: 絶滅危惧 I B 類)		ラン科
選定理由	大部分の個体群で危機水準まで減少。園芸目的での採取圧がある。	<p>写真(後藤常明)</p> 
形態の特徴	高さは5-15cm。長楕円形の葉が1枚、茎の下部にある。花は淡紅紫色で数個は茎頂に集まって咲く。唇弁は3裂し、さらに2裂する。距は小さい。根は紡錘形。花期は4-6月。	
生態的特徴	山地の岩上や樹幹に生える。	 <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
分布状況	本州、四国に分布する。岐阜県では美濃地方に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。大雨などで流されることもある。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		

文責: 山崎玲子